

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
 - ①車両運搬具・・・定率法による減価償却を実施している。
 - ②一括償却資産・・・3年間の均等償却を実施している。
- (2) 引当金の計上基準
 - 賞与引当金
 - 職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上しております。
- (3) 消費税等の会計処理
 - 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 預金	0	3,000,000	0	3,000,000
小 計	0	3,000,000	0	3,000,000
合 計	0	3,000,000	0	3,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産 預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
小 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
合 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法により減価償却を行っている場合）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	486,000	364,632	121,368
一括償却資産	1,510,380	461,505	1,048,875
合 計	1,996,380	826,137	1,170,243

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	0	612,888			612,888